

## 千葉大学環境リモートセンシング研究センター 特任助教/特任研究員の公募について

千葉大学環境リモートセンシング研究センター(CEReS)では、衛星データとそれらに関連する地上観測データを処理・アーカイブ・公開し、関連分野の幅広い研究活動を通じてその科学的活用を図る「総合環境情報拠点」として地球環境に関する研究の進展に貢献しています。この度、衛星観測データを用いた陸域炭素循環の推定とフェノロジーや気候変動との関連に関する教育研究の実施にむけ、特任助教または特任研究員を以下の要領で募集します。

### 記

1. 公募人員: 1名
2. 募集分野: GCOM-C やひまわり8号などの衛星観測データを用いた光合成量や陸域炭素循環の推定と解明に関する教育研究に貢献できる方。採用時に博士号を取得している方、または近日中に博士号を取得見込みの方が望ましい。
3. 業務内容: JAXA 第3回地球観測研究公募「GCOM-C/SGLI データを用いた全球陸域植生フェノロジーと炭素フラックスプロダクトの作成」等に関連する教育研究に従事し、衛星観測データを利用した光合成量や陸域炭素循環の推定を行う。具体的には以下の研究に関する業務を想定しているが、応募者の研究背景や技術なども勘案し、プロジェクトに貢献可能な研究テーマ設定も可能である。
  - ・ GCOM-C SGLI データをはじめとする衛星観測データを用いた陸域 CO<sub>2</sub> フラックスプロダクトの構築
  - ・ 陸域 CO<sub>2</sub> フラックスプロダクト、フェノロジープロダクトなどを複合利用した統合解析
4. 応募資格: 陸域リモートセンシング、生態学、物質循環、モデリングに関する研究分野に興味があり、関連分野で研究実績を持つ方。また Python, MATLAB, C 言語などのプログラミング経験を有する方。
5. 関連する専門分野: 陸域リモートセンシング、陸域生態系、物質循環、モデリング。
6. 採用時期: 令和4年4月～(応相談)
7. 採用期間: 契約は年度末までだが、従事している業務の進捗状況に応じ更新することがある。
8. 待遇等:
  - (1) 職名: 特任助教または特任研究員(常勤)
  - (2) 給与等: 本学特定雇用職員給与規程を適用。経験年数に応じて決定。
  - (3) 勤務時間: 8時30分～17時15分、週5日、1日あたり7時間45分勤務(専門業務型裁量労働制)
  - (4) 休日: 土日祝、年末年始
  - (5) 休暇: 本学特定雇用職員就業規程に基づき付与
  - (6) 諸手当: 通勤手当(支給要件を満たした場合、規程に基づき支給)
  - (7) 保険: 共済組合、雇用保険、労災保険に加入

9. 選考方法:書類選考、及び、面接により決定する。

10. 提出書類:

- (1) 履歴書 千葉大学指定書式(ファイルは CERE S のウェブサイトより取得して下さい)。
- (2) 研究業績リスト 様式自由(査読論文とそれ以外を分けて記載して下さい)。
- (3) 主要論文別刷 3 編(コピー可、原則として単著または筆頭著者論文)
- (4) これまでの研究歴と採用後の研究計画 様式自由 (各 A4 用紙 2 枚にまとめること)。
- (5) 意見を伺える方の連絡先(当センター以外の方 1~2 名、様式自由)。

11. 公募締切: 令和4年3月31日(木)必着。

※ただし、適任者が決まり次第、公募を終了する場合があります。

12. 書類送付先: 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学環境リモートセンシング研究センター 市井 和仁 宛

※封筒の表に「特任助教(または特任研究員)応募書類在中」と朱書、簡易書留で送付すること。

13. 問い合わせ先:

(職務): 千葉大学環境リモートセンシング研究センター 市井 和仁 ・ 楊 偉

電話: 043-290-3855、 e-mail: ichii[\*]chiba-u.jp / yangwei[\*]chiba-u.jp

[\*]部分を@マークに変えてください

(給与待遇等): 千葉大学西千葉地区事務部理工系総務課 センター支援係 武村 美香

電話: 043-290-2024、 e-mail: bee3832[\*]office.chiba-u.jp 同上

14. その他:

- ・ 応募書類は本選考以外の目的には使用しません。また、応募書類は原則として返却致しません。返却を希望する場合、返送先を記入し、切手を貼付した封筒を同封して下さい。
- ・ 選考の過程で面接を行う場合があります。旅費は支給されません。